

学校名	鶴岡市立湯野浜小学校
授業者	齋藤 高光

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

湯野浜地域の飛砂被害について知り、飛砂被害防止のために芝生を植えよう

1-2. 学年

第5学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

湯野浜地域の飛砂被害について知り、飛砂被害防止のために芝生を植える活動に取り組む。

校長より飛砂被害について説明してもらい、以下の【大切にしたい3つの視点】をとおして考えることで、飛砂被害を自分事にし、意欲的に芝生の敷設作業に取り組む。

- ① 飛砂被害とはどのような被害なのか
- ② どのように対策しているのか
- ③ 私たちにできることはあるのか

1-5. 単元設定の理由・ねらい

湯野浜地域の自然災害の一つに飛砂被害があり、その一つの改善策となるのが、芝生を植えることである。昨年度末、古くなったウッドデッキを取り壊したがそのままになっていた。自然教室の際、子どもたちは学校裏の芝生スペースにテントを張って寝るが、このままでは期間中に飛び砂の被害が予想された。

そこでこの問題を、自然教室を控えた子どもたち自身の課題として捉えることで、飛砂防止のために自分たちにできることはないかと自分事として考えていく。あわせて、実際に芝生の敷設作業を自分たちの手で取り組むことで、地域が自然環境とともに生活していることを実感させたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

【知識・技能】

- (1) 湯野浜地域の飛砂被害について知り、飛砂防止のために芝生を植えることの必要性を理解している。
- (2) 芝生を植える手順について、専門家に質問をしたりして収集した情報をまとめることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

- (1) 地域特有の災害リスクや日常生活の様々な場面で発生する災害の危険について考え、より安全な行動に比較、関連付けたりしながら課題解決に向けて考えている。
- (2) 伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。

【学びに向かう力、人間性】

- (1) 飛砂被害について調べたりまとめたりする活動を通して、友達と協力して課題解決に取り組もうとしている。
- (2) 芝生育成を阻害してしまう石を取り除く作業や芝生の敷設作業を自分たちの手で取り組めるよう意識を高めている。

1-7. 単元の展開（全12時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 本 時	1 湯野浜地域の飛砂被害と対策について知ろう ① 飛砂被害とはどのような災害なのか ② どのように対策しているのか ③ 私たちにできることはあるのか	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントで飛砂被害について提示する 講師 校長先生 
2 3	2 芝生を植えてみよう① ① 場所の確認、手順の理解 ② 小石を取り除き、除草して床土を作る（整地作業） ③ 土や山砂を入れる（必要に応じて行う） ④ 水はけ用の排水を施す（必要に応じて肥料や土壌改良材も）	<ul style="list-style-type: none"> ・講師と一緒に整地作業をする 講師 大野 民爾 先生、 富樫 智 先生 ・6月の自然教室で、広くなった校舎裏の芝生にテントが張れるよう、みんなで協力しあうよう声をかける。 ・持参するもの シャベル、軍手、長靴 ・係は、スコップ、一輪車、を準備する。 
4 5	3 芝生を植えてみよう② ① 芝生植え（マット芝） ② 目土を入れる（芝生がしっかり床土に定着するように） ③ たっぷりと水をかける ④ 定期的にお世話をしていく	<ul style="list-style-type: none"> ・講師と一緒に芝生を植える 講師 大野 民爾 先生、 富樫 智 先生 ・講師の指示に従って いねいに作業してい くよう声をかける。 
6 7	4 自然教室でテント泊をしよう ① 自分たちの力でテント張る ② 広くなった芝生部分にはブルーシートを敷き、食事スペースとする	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の自然教室は、6月29日(水)から7月1日(金)までの2泊3日となる。 

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- 海岸地の暴風による飛砂に悩む地域や学校の実情を理解し、湯野浜という地域に生きるひとりの人間として、防災の視点から飛砂防止の改善策を考えことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動/反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 本時のめあてを確認する <input type="text" value="湯野浜地域の飛砂被害について学ぼう"/>	○めあての確認をする ○校長から飛砂被害についての説明を聞く ■ 湯野浜地域の飛砂被害について理解できたか（観察）
2 プレゼンテーションを聞く 「湯野浜地域のもう一つの災害について」	
3 3つの視点について考える ○ワークシートに自分の考えを書く ① 飛砂被害とはどのような被害なのか ② どのように対策しているのか ③ 私たちにできることはあるのか	○防災の視点から飛砂防止の改善策を考えさせる ○飛砂に悩む地域や学校の実情を理解し、自分たちにできることを考える
4 3つの視点について話し合う	○芝生の敷設作業について児童から意見が出ない場合は、提案していく
5 話し合いをまとめる ○私たちができることについて確認する	■ 課題について話したり、聞いたりしている。（観察）
6 本時の振り返りをする ○考えが変わったところ、深まったところを伝え合う ○それぞれのよかったところを伝え合う	■ 防災の視点から飛砂防止の改善策を考えることができたか（ノート）

3. 今回の活動の自己評価

- 自然教室に向けて、講師の大野さんと富樫さんに教えていただきながら、芝生育成を阻害してしまう石を取り除く作業生懸命を自分たちの手で行った。グループで協力しながら、一生懸命作業する姿にたのしみを感じた。
- 校長や専門家といっしょに飛砂対策に関わることにより、児童の防災に関する実践的な能力や態度の形成ができた。また、実際に芝生の敷設作業を体験することにより、子どもたちが飛砂被害を自分事として捉えることができた。
- 今回のような自分事として捉えられる課題設定を行うことで、話し合いや伝え合う活動に意欲的に取り組み、考えを深めているように思った。

4. 今後の課題

- 今回実施した芝の敷設作業については今年度限りのものであるが、地域に飛砂被害があり、これまでその対策について苦慮してきたことは、5年生の防災学習の中で取り扱っていく必要がある。
- 授業内で、ペアや小グループなどで意見交換をする場面を設け、困ったときに相談し合ったり、意見を伝え合ったりでき、考えが深まった。今後は、話し方・聞き方の指導が不十分で、特に相手意識を持った話し方を今後も指導をしていく必要がある。(声の大きさ・目線など)
- ICTを活用し、考えを共有することができた。今後も調べ学習での活用などを意識的に取り入れたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。